

平成30年11月1日

一宮町教育委員会

平成30年度全国学力・学習状況調査について

秋冷の候、保護者の皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、一宮町の教育活動に対し、多大なる御協力と御理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去る4月17日に実施されました「平成30年度全国学力・学習状況調査」につきまして、一宮町の小中学校の状況についてお知らせいたします。

1 対象学年 ○小学校6年生 88名 ○中学校3年生 107名

2 結果の概要

国語・算数（数学）・理科の調査結果の詳細については、各学校からの配布物及びHPの掲載記事を御参照ください。

3 今後の取り組み（児童生徒質問紙から）

今年度調査から、新たに「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」の視点からみた、授業への取組状況に対する質問が追加されました。中学校では「自分の考えを発表する機会には、考えがうまく伝わるよう工夫して発表している」と回答した生徒が55.2%（県51.7、全国53.8）と高い値を示しています。小学校では、課題の解決に向けて、自分で考え取り組んだと、肯定的に答えた児童は81.9%（県75.6、全国76.4）と高い値を示していますが、友達の前で自分の考えや意見を発表することは苦手で、表現することへの課題が残っているといえます。今後とも「何ができるようになるのか」に視点を置き、児童生徒が自ら進んで意欲的に学習に参加できる取り組みを推進します。

次に家庭での生活習慣についてですが、放課後の過ごし方としては、テレビやゲーム、インターネットをしていると答えた児童は86.4%、中学生は74.8%となっており、小学生は全国平均を4ポイント上回っており、スマートフォンの普及を背景にこれらの利用に費やす時間が多くなっています。携帯電話やスマホの利用に関しては、今後とも家庭と連携して取り組んでまいります。一方で毎日、2時間以上勉強している（塾の時間も含めて：小学生は1時間以上）小学生は42.1%（全国比-24.1）、中学生は27.1%（全国比-9.3ポイント）と全国平均とは大きな開きが見られます。毎日机に向かう習慣や態度を身に付けられるように、家庭においても環境づくりを進めていただけるようお願いいたします。

規範意識については、「当てはまる」と肯定的に答えた児童生徒の割合は、昨年度よりも向上しており、自尊感情も高まってきています。ご家庭でも規範意識を高めるために、子どもの思いや考えを受け止め、コミュニケーションを図っていただくようお願いいたします。

次に地域や社会に関わる活動の実施状況では、行事やボランティアへの参加が中学生は3ポイント、小学生では10ポイント以上も全国に比べ高くなっており、特に中学生は地域行事への参加も多く、地域や社会で起こっている出来事への関心が高くなっていきます。

質問紙での質問内容(抜粋)	一宮町 小学生	千葉県 平均	全国 平均	一宮町 中学生	千葉県 平均	全国 平均
放課後の過ごし方(TV・VTR・DVD・ゲーム・インターネットをしている割合)	81.0 79.5	74.5 81.8	72.6 81.0	68.4 68.2	72.2 79.6	68.8 77.3
家で学校の授業の予習復習をしているか	58.0	60.5	62.6	57.0	53.7	55.2
地域社会でボランティア活動に参加したことはあるか	41.0 40.9	32.4 31.7	35.4 36.1	38.9 55.1	42.2 44.9	49.7 51.8
学校の授業以外に一日あたり勉強している時間(小:1時間以上、中:2時間以上)含塾等	39.1 42.1	61.3 62.7	64.4 66.2	15.8 27.1	35.5 35.6	35.4 36.4

(上段：29年度 下段：30年度) 単位：%

◎学校での授業改善と学習規律の確立、下校後の「計画的な家庭学習習慣」確立のための取り組みを進めてまいります。具体的な家庭学習の方法については、学校より示されますので、各家庭でのご協力をお願いします。